

日本家庭科教育学会

第 48 回 大会プログラム

2 0 0 5

6 月 25 日 (土) ・ 26 日 (日)

会場 群馬県前橋市 前橋テルサ

〒371-0022 前橋市千代田町 2 丁目 5 番 1 号 Tel (027)231-3211

6 月 25 日(土)				6 月 26 日(日)			
9:00	受 付			9:00	受 付		
9:30 ∩ 12:00	口 頭 発 表	第 1 会場 (つつじの間)	第 2 会場 (けやきの間)	9:30 ∩ 11:30	口 頭 発 表	第 1 会場 (つつじの間)	第 2 会場 (けやきの間)
		<u>1～10</u>	<u>11～20</u>			<u>21～28</u>	<u>29～36</u>
昼 食				11:30 ∩ 12:30	ポスター発表 (1～9) けやきの間ロビー		
				昼 食 (新旧役員連絡会)			
13:40 ∩ 14:50	総 会 (ホール)			13:45 ∩ 16:00	ラウンドテーブル (R1、R2 つつじの間) (R3、R4 けやきの間)		
15:00 ∩ 16:30	講 演 会 多賀 源太郎 氏 (ホール)						

(表中の下線番号は研究発表番号)

評 議 員 会 6 月 24 日(金) 18:00～21:00 つつじの間
 新旧役員連絡会 6 月 26 日(日) 12:00～13:30 つつじの間

懇 親 会	6 月 25 日(土)	17:00～19:00	けやきの間
-------	-------------	-------------	-------

2005年4月28日

日本家庭科教育学会会員各位
会員所属機関所属長殿

日本家庭科教育学会
会長 佐藤文子

第48回日本家庭科教育学会大会のご案内

薫風の候、皆様方にはますますご清栄のことと存じ上げます。

さて、日本家庭科教育学会では第48回大会を下記の通り開催いたします。会員各位の参加により、充実した研究交流と教育についての情報交換が行われますことを期待しております。

所属機関におかれましては、会員の大会参加に、ご高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

大会要項

1. 期 日 2005年6月25日(土)～26日(日)
2. 会 場 群馬県前橋市 前橋テルサ
〒371-0022 前橋市千代田町2丁目5番1号
Tel (027)231-3211
3. 日 程 第1日 6月25日(土)
9:30～12:00 研究発表
13:40～14:50 総会
15:00～16:30 講演会
17:00～19:00 懇親会
第2日 6月26日(日)
9:30～11:30 研究発表
11:30～12:30 ポスター発表
12:00～13:30 新旧役員連絡会
13:45～16:00 ラウンドテーブル
4. 参加費 正会員 5000円(事前) 6000円(当日)
学生会員 3000円(事前) 3500円(当日)
非会員 6000円(事前) 6500円(当日)
学生非会員 3500円(事前) 4000円(当日)

研 究 発 表

【口頭発表】

【第1日午前】 9：30～12：00 第1会場（つつじの間）

座長 福田 公子

- | | | |
|------------------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------|
| 1 衣生活システムの概念を導入したマルチメディア教材の開発 | 三郷市立彦糸中学校
上越教育大学
上越教育大学（院生） | ○松尾 美江
滝山 桂子
佐藤 洋美 |
| 2 小学校における1学年児童の通学服（私服）の着用実態－着衣形態および着用能力を中心として－ | 信州大学教育学部 | 福田 典子 |
| 3 地域教材（琉球絃）を生かした中学校家庭科実践－4つの動機づけの視点から－ | 琉球大学教育学部 | 富士栄 登美子 |
| 4 着るものを製作する授業の課題－高等学校でのマフラーづくりの授業観察を通して－ | 宮城教育大学 | 中屋 紀子 |

座長 滝山 桂子

- | | | |
|-------------------------------------------|----------------------------|------------------|
| 5 日本人学校の児童・生徒の家庭科観－ロンドンおよびパリ日本人学校の事例をもとに－ | 東京学芸大学教育学部 | 池崎 喜美恵 |
| 6 学生がとらえる家庭科から探る家庭科教育の課題と可能性 | 横国大学院（院生）
横浜国立大学教育人間科学部 | ○野原 慎太郎
鈴木 敏子 |
| 7 占領下日本における高等学校家庭科教育政策の評価について | 広島大学大学院教育学研究科 | 柴 静子 |

座長 綿引 伴子

- | | | |
|---------------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------|
| 8 ホームプロジェクト学習の指導方法に関する研究－短大生を対象とした授業実践を通して－ | 青山学院女子短期大学 | 安藤 美紀子 |
| 9 高校生のジェンダー・アイデンティティ形成に関する要因分析 | 水沢第一高等学校
岩手大学教育学部 | ○多田 福子
長澤 由喜子 |
| 10 中等学校家庭科授業開発研究（第4報） | 新潟県立長岡大手高等学校
岡山県牛窓中学校
岡山大学教育学部 | 佐藤 ゆかり
三浦 聖子
○佐藤 園 |

【第1日午前】 9：30～12：00 第2会場（けやきの間）

座長 鳥井 葉子

- | | | | |
|----|----------------------------------------|------------------------------|----------------|
| 11 | 開発した子ども用包丁の技能習得への効果
—硬さの異なる被切断物の切断— | 奈良教育大学 | 鈴木 洋子 |
| 12 | 家庭科教育と食育
—栄養教諭制度の導入と小学校家庭科担当教師の意識— | 福井大学教育地域科学部 | 荒井 紀子 |
| 13 | 小学校の食教育における家庭との連携方法の検討 | 広島大学大学院（院生）
広島大学大学院教育学研究科 | ○西 智子
伊藤 圭子 |

座長 日景 弥生

- | | | | |
|----|---------------------------------------|---------------------------|------------------|
| 14 | 中学生の食生活環境と味覚との関連 | 上越教育大学生活・健康系
上越教育大学 | 得丸 定子
○鈴木 智子 |
| 15 | 中学生の自由献立による調理実習と調理技術についての研究（第2報） | 大妻女子大学人間生活科学研究所
秋草学園短大 | ○小島 章子
平山 素子 |
| 16 | 実感を重視した家庭科指導の追求
—家族を核とした食分野の授業の試み— | 君津市立外箕輪小学校
千葉大学教育学部 | ○鈴木 真理子
佐藤 文子 |

座長 中屋 紀子

- | | | | |
|----|---------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|
| 17 | 生活技術の習得過程について
—家庭生活での実践と自信度との関連性を中心に— | 東京学芸大学附属養護学校
東京学芸大学教育学部 | ○佐藤 希
大竹 美登利 |
| 18 | 高校生のダイエットに関する意識と実態 | お茶大人間文化研究科（院生） | 藤田 智子 |
| 19 | 中国地方の専門高校における教科「家庭」の現状
—食分野を中心に— | くらしき作陽大学食文化学部
くらしき作陽大学食文化学部
くらしき作陽大学食文化学部
くらしき作陽大学食文化学部
くらしき作陽大学食文化学部
西福山病院
くらしき作陽大学食文化学部 | ○福田 公子
貴志 倫子
山本 奈美
高木 弘子
諸岡 浩子
小川 見恵
長石 啓子 |
| 20 | デューイ実験学校のカリキュラムにおける「食」
実践の位置づけからみる家庭科教育における「食」
実践 | 敬和学園大学人文学部 | 伊藤 敦美 |

【第2日午前】9：30～11：30 第1会場（つつじの間）

座長 中西 雪夫

- | | | | |
|----|----------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| 21 | 家族学習における心理劇が児童・生徒の家族観に及ぼす影響 | 前橋市立前橋高等学校
前橋市立佐野小学校
群馬県教育委員会中部教育事務所
高崎市立豊岡小学校
群馬大学教育学部
群馬大学教育学部 | ○佐藤 聖美
梅木 佳代
三好 玲子
吉田 舞
渡邊 彩子
上里 京子 |
| 22 | 二度の幼児とのふれあい学習における中学生の学び | 千葉市立椿森中学校
千葉大学教育学部 | ○鎌野 育代
伊藤 葉子 |
| 23 | 保育体験における高校生の意識変化と保育体験についての周囲の意識
—総合的な学習の時間での保育— | 金沢大学大学院（院生）
金沢大学教育学部 | ○河岸 美穂
綿引 伴子 |
| 24 | 父親の家庭関与と児童の家庭生活における行動との関連 | 滋賀大学教育学部 | 田中 宏子 |

座長 野田 文子

- | | | | |
|----|-------------------------------------------|---------------------------|-----------------|
| 25 | 高等学校「家庭基礎」カリキュラムの開発 | 信州大学大学院教育学研究科
信州大学教育学部 | ○小口 倫子
松岡 英子 |
| 26 | 特色ある取り組みからみた特別支援教育における家庭科の検討 | くらしき作陽大学
広島大学大学院教育学研究科 | 福田 公子
○伊藤 圭子 |
| 27 | 家庭科教員養成における模擬授業実践を取り入れた教育法プログラムの検討 | 新潟大学教育人間科学部 | 高木 幸子 |
| 28 | 初任者教員の授業改善に関する研究
—授業を進める意思決定プロセスの視点から— | 八千代市立米本南小学校
千葉大学教育学部 | ○庄司 圭子
佐藤 文子 |

【第2日午前】9：30～11：30 第2会場（けやきの間）

座長 乗本 秀樹

- | | | | |
|----|----------------------------------------|----------------------|-----------------|
| 29 | 小学校高学年における消費者教育に関する研究
—菓子の消費実態調査から— | 船橋市立海神南小学校
上越教育大学 | ○近藤 精洋
滝山 桂子 |
| 30 | 高等学校家庭科教育における自己実現と経済的自立に関する授業設計 | 香川大学教育学部 | 志村 結美 |

- | | | |
|-------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| 31 金銭教育におけるメディア・リテラシー育成のための基礎的研究 | 東京学芸大学（非）
東京家政大学
千葉大学教育学部
日本女子大学
東京学芸大学附属小金井中学校
群馬大学教育学部 | ○妹尾 理子
青木 幸子
伊藤 葉子
内野 紀子
佐藤 麻子
渡邊 彩子 |
| 32 生活設計と高校生の自立に向けての課題 | 千葉県立流山南高等学校 | 仲田 郁子 |
| 座長 榎原典子 | | |
| 33 学校設定科目「ライフデザイン」の授業実践ーインターンシップの実施を通してー | 愛媛県立第二養護学校 | 香川 実恵子 |
| 34 大学生における社会人としての自覚・責任に関する実態 | 千葉大学大学院（院生）
千葉大学教育学部 | ○飯塚 比奈子
佐藤 文子 |
| 35 若者が生活を捉える視覚に関する質的研究ーグランデッド・セオリー・アプローチを用いた分析ー | 都立葛西南高等学校
千葉大学教育学部 | ○荒井 きよみ
伊藤 葉子 |
| 36 大学生におけるベットとヘットロスに関する意識調査 | 上越教育大学
上越教育大学（学生会員） | ○得丸 定子
川島 名美子 |

【ポスター発表】

【第2日】11:30～12:30 (けやきの間ロビー)

- | | | |
|---------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| 1 自立と共生の視点からみる児童・生徒の生活意識と実態 | 東京家政大学
青山学院女子短期大学
千葉大学
茨城大学
日本女子大学
東京学芸大学 | 青木 幸子
安藤 美紀子
石井 克枝
岩崎 恭枝
内野 紀子
妹尾 理子 |
| 2 被服製作学習における用具の改善
ー女子学生のミシンモニター調査からー | 蛇の目ミシン工業(株)
東京学芸大学教育学部 | 安岡 和佳
鳴海 多恵子 |
| 3 調理実習を学ぶことの意義
ー調理実習の分析考察からー | お茶大附属中(非)
埼玉大学教育学部
海城高等学校(非)
三輪田学園(非)
千葉県立柏北高等学校(非)
筑波大附属坂戸高等学校(非) | 千葉 悦子
河村 美穂
小倉 礼子
松井 洋子
松岡 文子
小清水 貴子 |
| 4 「食の安全」に焦点をあてた消費学習の授業開発
ーこれまでの学習の検討と授業試案の作成ー | 愛媛大学教育学部
金沢大学教育学部 | 杉村 桃子
綿引 伴子 |
| 5 保育園児の母親の養護性と中学・高校『家庭科』保育領域の学習経験との関連 | 信州大学教育学研究科(院生)
信州大学教育学部 | 依田 多恵
岡野 雅子 |
| 6 高等学校における日常生活の環境問題を題材にした授業開発 | 東京家政学院大学(非)
福岡工業大学
東京学芸大学(非) | 齋藤 美保子
井元 りえ
妹尾 理子 |
| 7 教員養成における「教育実習」履修前後での「実践参加型授業」の意義 | 静岡大学教育学部
静岡大学教育学部 | 小川 裕子
吉原 崇恵 |
| 8 家庭科の教師がグループで学ぶということ
ー「家庭科の授業を創る会」の21年の歴史と活動ー | 千葉県立流山高等学校
女子学院中・高等学校(非)
お茶大附属中(非) | 仲田 郁子
中村 恵美子
千葉 悦子 |
| 9 男女混合名簿実施校と未実施校における児童と保護者のジェンダー観 | 弘前大学教育学部 | 日景 弥生 |

〈 講 演 会 〉

テーマ：「発達脳科学研究の現状」

乳児期の発達過程、運動学習、それらに関わる脳のメカニズムに関する研究知見から家庭科教育への示唆を得る。

講 師：多賀厳太郎氏（東京大学大学院教育学研究科助教授）

日 時 6月25日（土） 15：00～16：30

会 場 群馬県前橋市 前橋テルサ ホール

プロフィール：平成元年、東京大学薬学部卒業。平成6年、東京大学大学院薬学系研究科博士課程修了。京都大学基礎物理学研究所学振特別研究員、ボストン大学神筋研究所博士研究員、東京大学大学院総合文化研究科関連基礎科学助手、カリフォルニア工科大学 HFSP 短期フェローなどを経て、平成12年より東京大学大学院教育学研究科講師、平成16年より現職。

〈ラウンドテーブル〉

〈ラウンドテーブル1（RT1）：実習・体験の意義を問い直す〉 つつじの間

被服製作、調理実習、高齢者や子どもとの触れ合いなどの実践的・体験的な学習活動は、真に児童・生徒の生活に生かされているだろうか。実習し体験することに留まることなく学習理念が貫かれるにはどうしたらよいか、現況の問題点を整理し、課題を考えたい。

〈ラウンドテーブル2（RT2）：人間関係のスキルを育む〉 つつじの間

昨今では、関係性を築く上でトラブルを抱えている子どもが多いことが報告されている。そうしたなかで、家庭科の授業が人間関係スキルを育めるのか、育めるとしたら、どのような可能性や発展が考えられるのか、本ラウンドでは、これらのことをテーマとし、活発な意見交換を行いたい。

〈ラウンドテーブル3（RT3）：子どもの消費生活をめぐる課題を探る〉 けやきの間

市場における消費者としてマーケティングの標的とされる現代の子どもたち。消費者教育実践報告を通して、メディアリテラシーの育成等子どもたちを取り巻くさまざまな課題を検討したい。

〈ラウンドテーブル4（RT4）：授業研究の方法論を検討する〉 けやきの間

子ども・教師・教材などが複雑に絡み合う実践をもとにして授業をとらえ直すためには、どのような方法を用いればいいのか、「授業から読み取りたいこと」と「読み取る方法」の関連を、これまでの授業研究の方法論上の問題点を出し合いながら探って生きたい。

○研究発表をされる方への連絡事項

1) 口頭発表

1. 配布される印刷物は、発表番号と氏名を明記し、必ず200部以上用意して当日早めに受付までご提出ください。
2. 研究発表の時間は12分、質疑応答の時間は2分、質疑のない場合は14分まで発表できます。この時間には資料配布等の時間も含んでいます。発表時間が厳守されないとスケジュールが乱れますから、是非ご協力をお願いいたします。
3. 発表時間10分経過後第1鈴、12分経過後第2鈴、14分経過後第3鈴をもって合図とします。
4. 同一題目で連続して研究発表をされる場合には、質疑を最後にまとめることがありますので、ご了承ください。
5. 研究発表中止の場合、できるだけ早めに連絡してください。その後の発表の繰上げはいたしません。

2) ポスター発表

1. 発表1題につき、パネル1枚（使用有効面：横110cm×縦170cm）です。発表者は指定されたパネルに、説明文、図、表、写真など、自由にレイアウトをしてください。
2. 演題目、所属、氏名の表示は、上部20cm程度で各発表者が準備してください。
3. ポスター発表は大会第2日目、6月26日（日）の11:30～12:30を予定しています。発表者は、この時間の間はポスターの傍らに待機してください。
4. ポスター設営の際、ポスター展示会場にて受付を済ませてください。設営は前日（25日）9:30から12:00までに行ってください。
5. ポスターは、ピンか画鋸で貼ってください。ピンか画鋸はご持参ください。
6. ポスターの撤収は、各自で行ってください。くれぐれも、セッション進行中は撤収しないでください。

3) ラウンドテーブル（RT）のご案内

第48回大会では、昨年の大会でご好評をいただいた「授業実践交流」をさらに発展させ、初の試みとして、下記の4テーマに基づく「ラウンドテーブル（RT）」を設定します。

ラウンドテーブル（RT）の主役は、小・中・高校で家庭科を担当する教師たちです。各RTのテーマに基づく話題提供者の先生によるご提案を受けて、そのテーマに関する家庭科教育実践の課題について、考え合っていきたいと思います。なお、ラウンドテーブルが活発な議論の場となるように会場を設営する関係で、報告希望者はご自身の報告をご用意の上、事前の申し込みをお願いします。当日報告受付も可能ですが、事前申し込みの方を中心に討論を進めますので、当日受付による報告者は、ご発言の機会が限られてしまうことをご承知おきください。

期限までに報告申し込みをしてくださった方々の内容を冊子にまとめて、大会参加者全員に配布する予定です。“現場教師が元気になれる”場となることを願いつつ、このたびのRTを企画いたしました。

○学会の各地区で作成された報告書、年報や、個人、研究室等の資料、出版物で配布、販売したいものがありましたら、コーナーを設けますので、ご活用ください。なお、配布、販売等は、各自の責任でお願いします。

懇 親 会

日 時	6月25日(土)	17:00~19:00
会 場	けやきの間	
会 費	事前申し込み	5000円
	当日申し込み	6000円

全国からお集まりになられました皆様方と情報交換をし、懇親を深めたいと存じます。短い時間ではございますが、多数のご出席をお待ち申し上げております。